

平成 27 年度 第 2 回学校協議会

日時 平成 27 年 11 月 6 日（金） 15:30～17:00

- 委員紹介
- 座長あいさつ
- 事務局自己紹介
- 校長挨拶

（教頭）協議委員の変更について、事業所内での人事異動に伴い変更。

- 「今年度の研修計画と報告」（研修研究部）資料④

（校長）学校教育目標に掲げた高い専門性の教員集団という目標像に近づくために研修を
実践している。この研究が専門性の向上につながっているかの検証については学
校教育自己診断にあらわれてくると考えている。

（委員 1）学校教育自己診断から教育の効果を分析していくのは客観的にみるのは難しい。

（教頭）質問項目の中にいくつか捨てる可能性がある質問があるので分析できる項目があ
ると思う。

（委員 1）校外研修をもう少し詳しく。

（校長）外部に対して研修の講師として派遣し、講義を行っているケースもあり、校内で
も活用できるように考えている。

（委員 1）年間の研修について、研修をカテゴリー別に分け、どういった能力について行
われている研修かを検証する必要がある。

伝達講習は重要である。校内的に伝達講習を徹底化したほうがよい。

（委員 2）センター的役割として、公開講座などは実施されているか。

（事務局①）共生推進、自立支援コース設置校を対象に実践研究会を予定している。

- 「第 1 回体育祭の報告」（体育科）資料⑤ 体育祭の映像有

- 「各学年の進路の取り組みと 3 年生の進路状況について」（進路指導部）資料⑥

（委員 1）現状は他校と比べてどうなのか。

（事務局②）実習に関しては多く受け入れてもらっている。雇用についても多くの企業が
雇用を見据えた実習等を実施できている。

（委員 1）他校との情報交換もされると思うが、その観点からはどうか。

いろいろ数字は出ているが生徒の希望的にはどうなっているか。

（事務局②）個々の生徒の実態に応じて、当初は企業就労希望だが、訓練校等に進路変更
している生徒がいる。

（委員 1）「未定」には実習予定者にも入っていないのか。

生徒の希望の数と照らし合わせた数字が成果になると考える。最終的にはすべて
の生徒の希望がかなうといいのだが、学校一丸となって頑張ってもらいたい。

（委員 2）決まっているのは 2 割程度ですね。

○「授業満足度調査（４月）」

（委員１）「標準集計」とは。

（事務局③）標準集計１は「とてもそう思う」、標準集計２は「そう思う」を意味している。

（委員１）「１年 共生 清掃」のコメントについて、批判的なコメントがあるにも関わらず、アンケートには批判的な回答がないのはどうとらえているか。

（事務局④）３年と１年を同時に指導する展開が難しい授業の第１回目だったので、非常に丁寧な指導を心掛けた。そのためと考えている。

３年の清掃のアンケートでは「そうは思わない」に回答があり、３年の保護者からすると、丁寧さが逆にまどろっこしく感じられたようである。今後の授業展開にもフィードバックできるアンケートと考えている。

（委員２）１年３組の生活科学では点字をされたのですね、小学校４年生ぐらいでされる内容だと思いますが、あえてされている理由を教えてください。

（事務局⑤）福祉分野を含んだ学科であるため、視覚障がい者への関心を深めるために実施した。学科のトライアル期間のため、内容的には比較的取り組みやすい内容を取り入れている。トライアル期間後は、違った内容も取り入れている。

○協議「学校教育自己診断票（案）」について（教頭）

（教頭）昨年度答えていただいたと思いますが、何かご要望等ありますでしょうか。

（委員３）学校や先生方を信頼してアンケートに答えており、憶測で答えている場合が多い。中には、アンケートに答えづらいと考えているご家庭もあるかもしれない。内容についてはこのままでいいのではないかと考えている。

（委員２）学校診断の結果について、同じ集計の仕方をしたほうが良いと思う。同じ項目で時系列的に結果を見ていくほうが良い。

○本日のまとめと終わりの挨拶

（校長）就労率と社会参加は本校のミッション。１期生の現状については、今後どこまで伸ばすかを検証していかなければならない。

アドミッションポリシーを明確にすることとなっている。求める生徒像を掲げ、平成２８年度選抜を実施する。就労率とアドミッションポリシーの関係も検証していかなければならない。府民のニーズに沿いながら学校目標を考えていかなければならない。

本校の１０周年を見据えて、議論を重ねていきたい。